

# 京都教区時報

第120号

田中司教認可

毎月1日発行

発行 京都司教区 発行責任者 村上透磨

編集 京都カトリック教理センター 住所 京都市左京区仁王門通新高倉東入 Tel 761-9095

)第1回福音宣教推進全国大会(ナイス)はもう始まっている(



世界の中に生きる一キリスト者として、もし誰かが、不当に生命権、社会人として生きる権利、自由、平等、正義、愛等に生きる権利を犯されるとすれば、おそらくキリスト者として黙つているなど福音は告げるでしょう。そういった福音からの呼びかけとして、今私達が問われている事の一つとして指紋押捺の問題があります。私達はみなキリストによって贖われた兄弟だと言われます。今回ここにお伝えする事を、兄弟としての痛みの分かち合いの一つの出発点としても考えていただければ幸いです。

私達キリスト者はみな、福音に生きる様召されています。福音は単に魂の救いだけでなく、人間性そのものの尊厳を目指しているものであると思われます。



## ●外登法抜本改正のための 国会請願署名にご協力を

今、「外登法問題と取り組む全国キリスト教連絡協議会では、カトリックとプロテスタントがいつしょになって、外国人登録法の抜本改正を求める、国会請願署名をおこなっています。

外国人登録法の対象となつて、指紋押捺を強制されている人々のほとんどが、日本の植民地政策によつて日本に住むことを余儀なくされた人々です。その大部分は日本で生まれ、日本で育ち、税金も納めて、私たちと共に生活しています。しかし、法律をかえたいたくても選挙権がなく、選挙によつて政治に参加し法律をかえることはできません。

在日外国人が安心して日本に住めるよう日本人と在一起に、取じみをよくお読みの上、ぜひご協力ををお願いします。(注、署名は衆・参両議長にあてて提出しますので両方に同じ名前をお書きください。)

●開かれた教会をめざして  
京都教区司教 ライムンド・田中健一

# 司祭評議会定例会議報告

’87年1月5日

## 新しい評議員が決まりました

### 審議事項

#### (1) 新しい評議員の紹介

司教代理 村上真理雄師

教区付司祭代表

浅田 年生師

花井 拓夫師

瀧野正三郎師

メリノール会代表

W・エグルストン師

レデンプトール会代表

未 定

マリスト会代表

P・オヘール師

ヴィアトール会代表

J・ナドー師

エスコラピオス会代表

P・ペレア師

その他の会代表

A・バルデス師

(2) 第一回全国会議のための司祭代表

J・ラッキー師、J・ルーニイ



### 司教の足どり

#### (5) 一年間の定例会議予定

3月2日(月)、5月25日(月)  
7月6日(月)、9月7日(月)  
12月7日(月)の5回です。

投票により、浅田師に決定しました。

#### (4) 議長の選出

投票により、浅田師に決定しました。

#### (3) 常任委員の選出

投票により、浅田師、瀧野師、オヘール師に決定しました。

- 各委員はそれぞれのブロック、小教区で実施することをすすめてほしい。
- 三重ブロックとして青年が中心となりウオーカソンをやり、全信者が協力する。
- 各委員はそれぞれのブロック、小教区で実施することをすすめてほしい。
- 理念や意義の徹底のみの段階ではなく具体的実行を
- 海外交流や援助もよいが足元をかためる必要があるので、かためる必要があるので、理念や意義の徹底のみの段階ではなく具体的実行を

### 決定事項

1月 1日	元旦ミサ、例年の如く各ミサで新年挨拶、鏡割	2月 1日	聖マルチン病院に母を見舞う	3月 5日	病棟ミサ 司祭評議会 と新年ミサ懇親会	4月 6日	教区事務所事始め。来客多し	5月 7日	来客多し 大阪入管事務局へ(A師と) 延暦寺より年賀挨拶	6月 8日	神社本庁よりビジネスローマと電話	7月 9日	西陣堅信、80周年ミサ	8月 10日	西陣堅信、80周年ミサ	9月 11日	西陣堅信、80周年ミサ	10月 12日	教区カテキスマサ会総会ミサ 50周年記念ミサをナイスの終ったあと引き継いで、河原町教会にて行う。	11月 13日	園部聖家族幼稚園教委巡礼	12月 14日	京南司月例会。面談多数 聖心のウルスラ会総長米訪V日本大使より返電	1月 15日	日連日執務 ローマと電話	2月 16日	聖心のウルスラ会総長米訪V日本大使より返電	3月 17日	司祭評議会常任委員会。ローマと電話	4月 18日	キ一致祈祷週間の集い	5月 19日	ナイス(全国会議)京都代表初会合	6月 20日	JOCカラシ種の会に講話と対話	7月 21日	故オカナ師埋骨ミサ。カルメル会訪問	8月 22日	長沼理事長(俊成会)來訪	9月 23日	L.P運動について通達書発行	10月 24日	聖マルチン病院に母を見舞う	11月 25日	故オカナ師埋骨ミサ。カルメル会訪問	12月 26日	神の園代表と面談	1月 27日	レデンプトール会代表と面談
-------	-----------------------	-------	---------------	-------	---------------------------	-------	---------------	-------	------------------------------------	-------	------------------	-------	-------------	--------	-------------	--------	-------------	---------	---	---------	--------------	---------	--------------------------------------	--------	-----------------	--------	-----------------------	--------	-------------------	--------	------------	--------	------------------	--------	-----------------	--------	-------------------	--------	--------------	--------	----------------	---------	---------------	---------	-------------------	---------	----------	--------	---------------

## 教区創立50周年各委員会の動き

### 記念行事委員会より報告

#### ○青年としては

- 大十字架を作り、各教会に回し全員にサインをしてもらう。
- 通信回線を使って同時ミサ、テレビ中継をおこなう。

#### ●青年大会を司教様といっしょに。

## 京都教区創立50周年記念

## アンケート調査の結果報告

50周年記念行事委員会



約半数しか記入がありませんでした。原因はいろいろ考えられます。記述式にしたことは失敗でした。もう一つは、やはり意識の低くさを示すものではないでしょうか。

さて、現代の福音宣教の大きな柱の一つ、「社会の福音化」が叫ばれ、「社会に開かれた教会」としての努力を進められています。

私たちは、この意味をどのように理解し、どのように実行したらよいのだろうかを考えることが、同時に五十周年記念の意義を知り、それを具体的な実行に移すことです。

回答者は、それぞれの立場から答えてくださったと思いました。できるだけ回答内容が重複しないよう整理しました。

今回はアンケート用紙裏面の、記述式回答内容を報告します。

全回答数の中の約半数しか記入がありました。原因はい

A-1 あなたの地域で行なわれている福音的と思われることは何ですか

（以下54項目）

B-2 好げとなっている点はどんなことだと思いますか

C-2 特に青年としてどのように記念したいと思いますか

私たちにはこれを読んで反省し、励まされ、或いは示唆を受け啓發されるのではないでしようか。

弱い人のニードに積極的に答える▼地域の特殊性を尊重した宣教▼人一人が宣教者であることの自觉▼市民と共に講演会、音楽会等▼信者自身の自己刷新▼エリート的な見直し▼青年の意見を重視すること▼信仰と生活の一致▼教会の催しを開放する▼社会の悩みに具体的に答えられる能力の養成▼若者の活力

（以下31項目）

弱い人のニードに積極的に答えるように記念したいと思いますか

（以下33項目）

B-1 社会に開かれた教会として歩んでも行く中でいま最も大切な点はどんなことだと思いますか

司教団が出した「基本方針」の中で、「日本の社会や文化の中にある福音的な芽生え」は育て、また、その反対の現実は改めていくよう促されています。

教区五十年の見直し、さらに教會内外の対話の促進をはかり「社会に開かれた教会」づくりに、個人としても、共同体としても、ぜひ取り組まなければならない課題。

教會用語を一般社会にわかり易いものにする▼地域社会や、貧しい人、

これは今年、京都で行なわれるナイスのテーマとなりました。

紙面の都合上、全ての回答を掲載することができますが、できませんでした。詳しく知りたい方は教理センターまで

文責 坂口節夫

## 第1回福音宣教推進全国会議(ナイス)はもう始まっている

# ナイスの主役は私たち自身

みんなで考えよう。話し合おう、その声がナイスをもりあげる。

2月8日(日)午後1時より、信愛幼稚園ホールにおいて、第1回福音宣教推進全国会議の説明会が開かれ、各教区の代表者26名に中央実行委員より、今までの経過と今後の予定、全国大会のプログラン等についての説明、質疑応答が行われました。

一、大会の名称は今後なるべく、

第一回福音宣教推進全国会議(略)

称第一回全国会議(略)

今までナイスと呼ばれかなり定着しているが、内容がわかりにくいという問題がある。

### 二、経過

85年の司教会議で出された、「聴く、吸い上げる、活かす」という姿勢をもとに、昨年各地で公聴会が開かれ、多くの信徒の生の声が聴かれた。この信徒の声をもとに、各教区より全國会議の議題案として各10議題(16教区)が提出された。司教会議は160の議題案を研究して、共通の問題があることを見つけた。

それは「生活と信仰の遊離、教会と日本社会との遊離」ということである。そこで、福音宣教を考えるために「生活から信仰

を見直すこと。(今までよく言われたのは「信仰によって生活を見直す」ということでしたが、逆の発想です)、日本の社会の現実から福音宣教のあり方を見直すということを根本姿勢として「開かれた教会づくり」を中心課題に選んだ。(この課題を具体的に9要点にしほつた議題は先月号(119号)の通りです)

### 三、プログラム

全國会議は11月20日(金夕)より23日(月)午前まで、続けて京都教区50周年の記念ミサが行なわれる。会議は分科会方式で12グループに分れて話し合う。

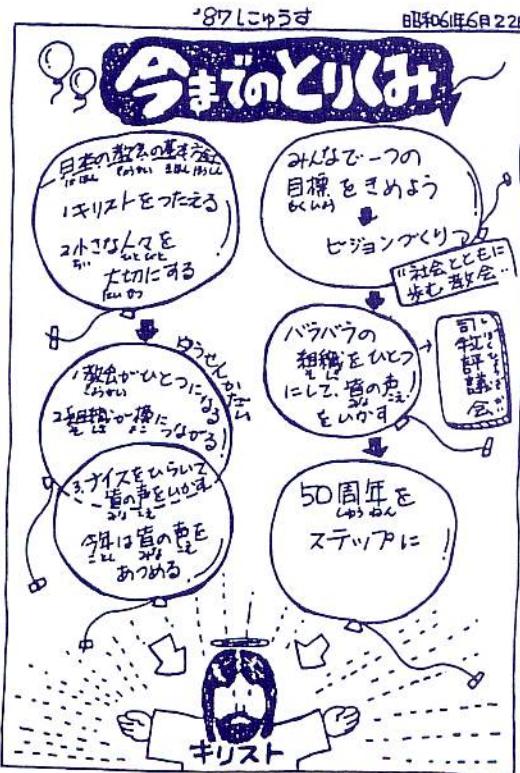
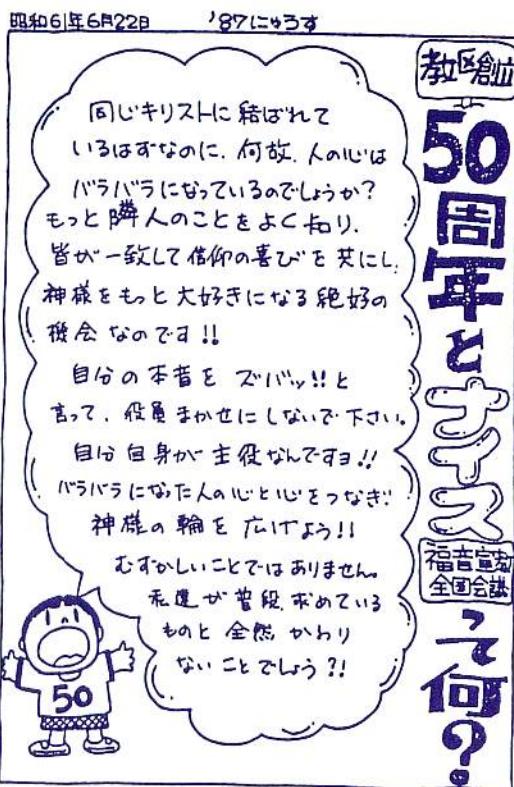
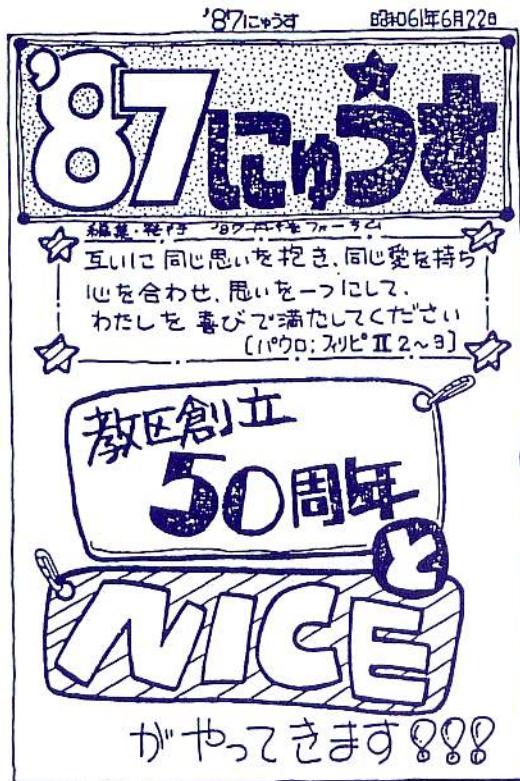
### 四、今後

大切なのは代表者の会議よりも、全国で全教会で全信徒がこの問題について考え、話し合い、その声が会議に反映されることである。そのためができるだけ情報をよく出し、話し合いがしやすいようにする必要がある。近く中央実行委員会より、課題についての説明と話し合いの手引き、祈りのしおり、ワッペン、ポスターなどが発行される。

五、出席者  
各教区より13名の代表(信徒5、修道者3、司祭5)各司教、司教委員会の秘書、修道会連盟の男女役員、神学校校長、司教会議よりの推薦者、実行委員会、各教区広報担当者、報道関係、招待者、京都教区会場関係スタッフその他計40名、合計約300名の出席の予定。

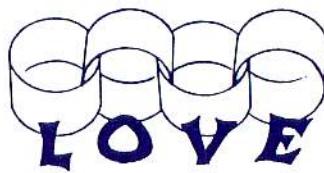
以上の様な話し合いが行なわれました。この全國会議が成功するか否かは、どれくらい全信徒が参加し、かかわるかによることですので、これから私たち代表者もできるだけ皆さんにニュースを流したいと思います。どうぞよろしく。  
(文責・松本三朗)

第1回福音宣教推進全國会議(ナイス)に向けて、各地で考え、話し合ったことを、どんどん、時報編集部に送ってください。お待ちしています。



兄弟の青年の取り組み

昨年の月に出された丹後の青年の教区50周年と全国会議  
(ナイス)について取り組んだ記事です。



## 開かれた教会——障害者の立場から——

### 全ての人出会いの喜びと

### ふれ合いの場としての教会を

小村 紀代子

私が、今誰から、「あなたはどここの教会の人ですか」と尋ねられたら、迷うことなく「私は園部教会です」と答えるでしょう。それは、数年前、R師が主任司祭として着任直後に出来たボランティアグループを中心として他の信者の方達との交流も徐々に広がり、小教区共同体の仲間としての連帯感が深まりつつあるからです。もちろんそれ以前にも私達は、十数人の信者がまとまつた施設ということもあって施設内でごミサに与かる恩恵に浴していました。そのため当時の主任司祭であったA師やU師が雪の日も、夏の炎天下もいとわず日曜日毎に来てくださいました。何か充たされない思いがありま

した。なるほど主任司祭とは日曜毎に顔を合わせ親しくなつていきましたが、信徒会の方達とはあまり顔を合わせる機会がなく、よく知っていたのは施設職員として私達の身近に居られた方の外はほんの数人程度でした。ですから私達は小教区共同体からは浮き上がつたような存在だったのです。もちろん顔や名前を知っていることだけが共同体一致の条件の全てだと私はいません。けれど私達の住んでいる最少限の地域の人々と顔を合わせ交流することによって共同体の一員としての一体感が生まれてくることも事実だと思います。

現在私達は希望すればいつでも教会へ行けるようになり、地元の教会がこれまでの「近くで遠い教会」から「ウチの教会」と言えるほど身近になりました。

このように書けばもう何も問題がないように見えます。が、ここに一つの問題が含まれています。それは、このような、私達にどつての好ましい状態が恥ずかしながら私達自身の努力の積み重ねの上にもたらされたものではなく、主任司祭の移動という偶然の結果に過ぎなかつたからです。障害者と教会の関係が主任司祭の個性や、考え方の微妙な違いによつて大きく左右され得いいものでしようか。

これは決して現状を否定して言つてゐるのではなく、今の好ましい状態がいつまでも続くことを願つて言つているのは言うまでもないことです。特に社会の中でもまだ出会いの場が少なく、孤独に陥りやすい重度障害者にとつて同じ主を信じる兄弟姉妹との出会いの場を望む気持ちはとても切実なものがあります。感謝

のがあります。そんな私達にとつて教会は、常に出会いの喜びと触れ合い、そして共に生かされていることを実感できるところであつてほしいと願っています。

また、私達の身近に、まだ福音の届かない状態で絶望的な毎日を送つている人達が多勢いる筈です。他人に心を開くことができない人もいるでしょう。かつての私のように…。その人達に教会は今よりもっと積極的に福音を伝える働きをしなければなりませんが、そのとき私達障害者も共同体の一人としてぜひ仲間に入れて頂きたいのです。そして救いを求めている人々にとつて私達との出会いが少しでも希望と勇気を見い出すきっかけになればいいなあと思つています。私達もまだまだ皆さまの助けが必要としています。大変でしょうがこれからもずっと私達をついてください。そして、教会が、社会の中で果たさなければならぬ役割を私達にもかつがせて頂ければ幸いです。

(園部教会)

語って下さい

**パンダ**

パンがふくらむ

原発建設の見返りとして、税金から出される交付金で、15世帯しかいな村に、りっぱな公民館。学生もいない所

に大きな大学。5万人しかいない街に10万人収容の陸上競技場などが建てられている。

京都や大阪の電力のために美しい自然も人々の心もこわされていく街、敦賀。

科学者の手から産業界に組み入れられた原発、そこには人々の尊さ、生命の大切さは全く考えられていない。原発下請労働者が多大の放射能を浴びることがわかっているの

に許容線というものを勝手に決めて安全だと宣伝する。

そこで集まつてくる労働者は、いわゆる労働者、いわゆる労働者たちは職の無い人がほとんどだという。神様が御ひとり

## 原発の街

### 敦賀を見学して

井筒 源太郎

子をお遣わしになるほど愛された人々を、同じ人々が踏みつけにして行く。日本の発展経済の発展という名の下に。現在ある水力、火力発電で十分まかなえるはずなのに。もし大事故が起れば京都はたちまち死の街と化してしまう

というのに！

現地の人は最後にこういつて話を終えられた。

「便利だとか、経済の発展とか、強い日本といった観点で原発を見れば人の生命の大切さという大事なものを見る

ことはできないだろう」

私たちは今こそ主祷文の祈りを行動に移すべき時なのです。

### 投稿のお願い

▽社会に関わる問題を通して、私たちの生活を見直しそう▽例えば平和の問題在日韓国・朝鮮人問題、同和問題……これらのことについて御意見、疑問のある方ご投稿下さい。

## 魅力ある教会つて…?

魅力ある教会つて、どんな教会

楽しい教会。特に青少年達が楽しく教会に集まる(?)様に、青年

の好むサークルを作ろう、レゴー

ドコンサートやダンスパーティやロツクバンドが出来るホールを作

ろう。子供が喜ぶマンガ図書館やテレビゲームを楽しめる

部屋。子供が喜ぶマンガ図書

館やテレビゲームを楽しめる

部屋。子供が喜ぶマンガ図書

ミサの時一杯になる教会。催物があればすぐ協力する教会。バザー等お手のもの。

みんなで助け合う教会。病気になつたらすぐ世話を走る人々の集いである教会。お互いにほめあい感謝し合う教会。信心会が一杯あつてみんな熱心に取り組む教会。

魅力的な教会についてみなさ

ん述べてみて下さい。

魅力的な教会についてみなさ

## ちょっとあなたも

### ちょっとわたしも (2)

でもちょっと皮肉な(?)反省もしてみてはどうでしょう。その中に教会特有の「甘え」があります。教会特有の「甘え」いやなエゴイズムがありませんか。教会特有の「甘え」いやなエゴイズムがありませんか。教会特有の閉鎖性があります。あなたは何をしましたか。又教会

例えればちょっと伺いますが、

隣りの小教区で財政的に困っていますか。教会は何んにもして

あなたは何をしましたか。又教会

あなたは何をしましたか。又教会

あなたは何をしましたか。又教会

あなたは何をしましたか。又教会

あなたは何をしましたか。又教会

あなたは何をしましたか。又教会

あなたは何をしましたか。又教会

## 司祭叙階式

3月21日(土) PM12時  
セバスチヤン柳本昭神学生の司祭叙階式が河原町教会で行われます。皆様お祈り下さい。

## お知らせ



## 教区スケジュール

3月

1日 西大和教会バザー  
2日 司祭評定例会議

4日 灰の水曜日

15日(日)パトリックのお祝い(九  
条教会)

16日 南部司祭集会

20～22日青年のためのレトルト  
(奈良)

21日(祝)司祭叙階式

22日 教会学校教師会総会  
西陣教会納骨堂春季合同

慰靈祭(AM9時)

25～27日高校生のためのエンカ  
ウンター(津)

29～31日中学生のためのレトル  
ト(奈良)

▼あけぼの愛読者  
講演会のご案内

日時 5月30日(土) PM1時30分～4時

テーマ 「若者のつっぱる心理を理解し  
ない親とは?—現場からの報告」

講師 岡 宏(所沢教会司祭)

場所 北浜カトリックセンター6階

入場料 無料

主催 女子パウロ会(尼崎市東園田9-15-12町)
☎ 06-(491)-1061
1061
12

## あなたの教会学校のために

(グリンベイに基づく教会学校教案集)

## 「ワークブック」

小学1年～6年 各3冊

1冊￥250円 3冊セット￥700円

## 「現代っ子の信仰教育」

教師用 1年～6年

★お問い合わせは京都カトリック教理センターへ

ええかげんにせい  
外登法改悪をゆるさへん  
3・29関西集会

場所 河原町カトリック会館地下ホール

日時 3月29日 PM3時～5時半

主催 カトリック京都教区  
指紋と人権を考える会  
NCC青年部

大韓キリスト教会関西地区青年部



日本カトリック教会の唯一の  
全国紙  
カトリック新聞  
の一世帯一部購読にご協力下さ  
い。  
3月21日(土) PM12時  
セバスチヤン柳本昭神学生の司祭叙階式が河原町  
教会で行われます。皆様お祈り下さい。

カイシンせよ、神の国が来て  
るから。福音の呼びかけ。するの  
は回心ですか、改心ですか、開心  
ですか、回帰ですか。罪を改める  
など小さな事。人間を変える事こ  
そがあ大変。これはなかなかした  
くない。新しい人になれ。(M)  
先月号(119号)から始まつた「ち  
も」。このコーナー、なにが言いた  
いのかな……。みなさんといっし  
ょに一年考えていただきたいですね(い)

第38回全国ファニチャーコンクール  
「中小企業庁長官賞」受賞

祈りの場が身近にあるよろこび

## カトリック家庭祭壇

現代の生活環境にピッタリ

各タイプ豊富に取揃えております。

ご一報下さい。美しいパンフレットを  
至急お送りさせていただきます。

〒604 京都市中京区河原町三条上ル

京都カトリック書房 ☎(075)223-0182

美し印刷

(株)からふね屋

京都市左京区東山通仁王門下ル  
〒606 ☎(075)761-1166(代表)

和洋紙卸

(株)都産紙

京都市中京区三条通富小路東入  
〒604 ☎(075)221-3233(代表)